

水俣・川崎展市民委員会ニュース 第2号

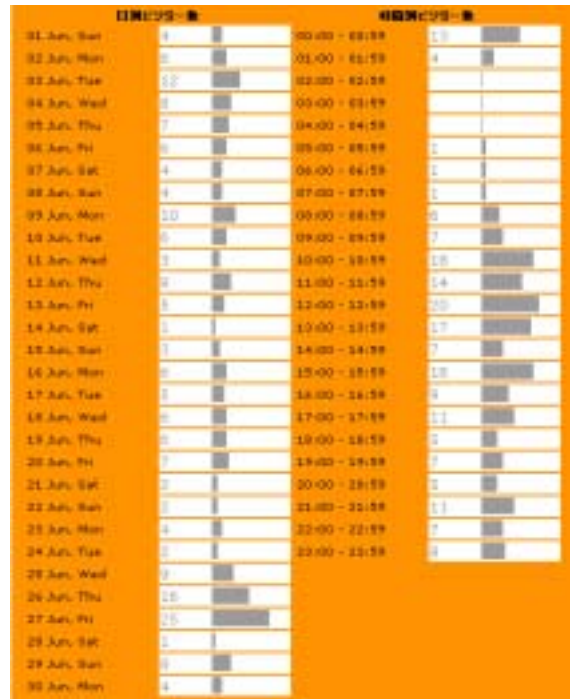
2003年7月2日発行

梅雨の最中ですが、お変わりありませんか。現在、市民委員会は水俣・川崎展にむけて、「プレイベント」およびポスター展示を中心とした「小さな水俣展」の開催企画の詰めを行っています。スケジュールなどもほぼ決まってきました。また、来年1月の本番に向けて、さらに市民委員会への呼びかけを図るためのチラシを作成し、会員を拡げようとしています。ニュース第2号の内容は、「水俣・川崎展ホームページ利用状況」、「私の水俣第2回」、プレイベント、小さな水俣展のスケジュールが更新された「当面の予定」です。

水俣・川崎展ホームページ利用状況

水俣・川崎展ホームページのアクセスカウンターは、2003年7月2日現在 2137 です。

5月13日からのカウンターなので、随分たくさんの方がアクセスしているかのように見えますが、実際は違います。このカウンターは、更新(リロード)する度にカウントされるので、一人でいくつでもカウンターのカウントをあげることができます。水俣・川崎展のトップページについては、いつ、どのコンピュータからアクセスされているかが分かるアクセスログの解析をしています。6月のアクセスログを解析した結果、ユニークビジターからのアクセスが一日平均6件しかないことが分かりました。ちょっとさびしい数字です。日別ビジター数については、右のグラフをご覧ください。



また、時間別のビジター数で最も多いのがお昼の12時台のアクセスです。職場のお昼休みの時間にアクセスされているのではないかと思います。次に多いのが、朝10時台と、お昼のお茶の時間にあたる15時台です。夜は、21時台と0時台が多くなっています。曜日別では、ウィークデイのアクセスが多く、週末は少ないのが特徴です。

トップページに表示されているアクセスカウンター2137に安心してはいけません。事務局としても、さらにホームページの充実を図り、多くの方からのアクセスに耐えうるホームページにして、水俣・川崎展についての情報発信の場としていきたいと考えています。今後とも、<http://www.minamata-kawasaki.jp/> をよろしく願います。

(三浦伸也 / 事務局)

「私の水俣」第2回

私が水俣・川崎展の市民委員会に参加したのは、それほど深く考えてのことではありませんでした。私はぐらす・かわさきにこの4月からスタッフとして関わるようになり、そのぐらす・かわさきは北部ランチとして、関わるのがすでに決まっていた。とにかくわからないことだらけなので、なんでも勉強しよう、いろいろな人と知り合いになろうと思っていたので、5月の会合に出ました。

私は水俣のことについては、社会の教科書で習った程度の知識がなく、過去のことと勝手に考えていました。しかし、そうではないことが少しずつわかってきました。そして、水俣・川崎展の開催に向けて、何年も前から考えていた人、青春時代にかかわっていた人などがこの市民委員を支援していることを知り、自分自身も何かできればと思っています。そのためにも、もっとよく知る必要を感じているので、この秋には実際に水俣に行ってみようと思っています。

川崎に住みはじめて4年以上がたちますが、この春まで市外で働いていて、なかなか地域の人と触れ合う機会がなかったのですが、こうしていろいろな人に出会うことができ、ようやく川崎の住民になってきたかな、という気持ちです。私自身まだまだ本当にわからないことだらけなので、水俣のことだけでなく、川崎のことなど、いろいろなことを教えてもらったり、一緒に勉強したりしていきたいと思っています。

(広岡希美 / ぐらす・かわさき勤務)

緒方正人さんと同じ1953年生まれの私にとって水俣は遠くて近い存在です。水俣との出会いは、高校生のころ見た写真展だったと思います。テレビでチッソ本社前の座り込みの様子などを見たのも同時期だったと思います。衝撃的でした。

写真集で観た茂道の風景を妙に懐かしく感じたのは、私が育った山間の地域も近代化と高度成長期を経て大きく変わってしまったからだと思います。私の田舎でも、人々の生活よりも経済が優先された社会構造の中で、親たちは翻弄されつつ子どもを育て、健康と地域文化が蝕まれてきたように思います。

地域が違い問題の大きさも違うのですが、このような変化の中に小さな被害性を感じます。同時にこのような生活の過程に潜む加害性にも心の痛みを感じます。そのことをきちんと整理していないから、私自身も私の田舎も多分川崎市もその延長線上にあると思います。

そんなわけで私にとって水俣は、過去と現在・未来をつなぐ重要な視点を投げかけています。今がどんな構造の中にあるのか、川崎・水俣展が現在を映す鏡になると信じます。

(石川美和子 / 町田市在住)

当面の予定

・市民委員会

- ・第5回水俣・川崎展市民委員会

7月11日(金) 18時30分～ 高津市民館第4会議室

- ・第6回水俣・川崎展市民委員会

8月8日(金) 18時30分～ 高津市民館第4会議室

- ・第7回水俣・川崎展市民委員会

9月12日(金) 18時30分～ 高津市民館第4会議室

- ・第8回水俣・川崎展市民委員会

10月10日(金) 18時30分～ 高津市民館第5会議室

・プレイベント

9月21日(日) プレイベント 多摩市民館 大会議室

10月25日(土) プレイベント 麻生市民館 大会議室

11月 日() プレイベント

内容は現在検討中。近日発表予定です。

・小さな水俣展

川崎区役所1階展示ギャラリー 9月1日(月)～12日(金)

幸区役所1階ロビー 9月16日(火)～26日(金)

中原区役所1階市民ホール 9月29日(月)～10月10日(金)

多摩区役所1階アトリウム 10月14日(火)～24日(金)

宮前区役所2階ロビー 10月27日(月)～11月7日(金)

高津区役所1階市民ホール 11月10日(月)～14日(金) 1週間です

麻生区役所2階ロビー 11月17日(月)～28日(金)

水俣・川崎展市民委員会

<事務局> 社団法人川崎地方自治研究センター内

〒210-0006 川崎市川崎区砂子1-7-5 タカシゲビル6F

TEL&FAX: 044-244-7610 E-mail: KYP04423@nifty.ne.jp

<北部ランチ> ぐらす・かわさき内

〒214-0014 川崎市多摩区登戸2590-3 ヨシザワ15ビル4F

TEL&FAX: 044-922-4917 E-mail: grass-k@guitar.ocn.ne.jp